

## 総務委員会会議録

- 1 期 日 令和2年9月17日(木)
- 2 会 場 第3委員会室
- 3 開会時刻 午前11時14分
- 4 閉会時刻 午前11時57分
- 5 出席者 委員長 小沼秀朗 副委員長 松浦昌巳  
委員 鈴木正治 委員 鷺山喜久  
委員 大石勇 委員 藤澤恭子
- 当局側出席者 総務部長、企画政策部長、危機管理部長、  
消防長、南部行政事務局長、会計管理者、  
監査委員事務局長、議会事務局長、所管課長
- 事務局出席者 議事調査係 松永友理子

### 6 審査事項

- ・議案第105号 令和2年度掛川市一般会計補正予算(第8号)について  
第1条 歳入歳出予算の補正  
歳入中 所管部分  
歳出中 第9款 消防費  
第12款 公債費  
第2条 債務負担行為の補正
- ・議案第119号 大坂・土方工業用地造成工事変更請負契約の締結について

### 7 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

令和2年9月17日

市議会議長 大石 勇 様

総務委員長 小沼秀朗

## 7 会議の概要

令和2年9月17日（木）午前11時14分から、第3委員会室において全委員出席のもと開催。

### 1) 委員長あいさつ

### 2) 付託案件審査

①議案第105号 令和2年度掛川市一般会計補正予算（第8号）について  
第1条 歳入歳出予算の補正  
歳入中 所管部分  
歳出中 第9款 消防費  
第12款 公債費  
第2条 地方債の補正

[財政課、説明 11:16 ~ 11:23 ]  
[質 疑 なし ]

○小沼秀朗委員長  
財政課の説明に対する質疑をお願いします。

○小沼秀朗委員長  
以上で質疑を終了する。

[危機管理課、説明 11:24 ~ 11:25 ]  
[質 疑 11:25 ~ 11:36 ]

○小沼秀朗委員長  
危機管理課の説明に対する質疑をお願いします。

○藤澤恭子委員  
ダクト内に水が貯まった変形というのは、変形により水が溜まったのか、水が溜まって変形したのか。その辺りのことと、今後こういうことがないのかを確認させてください。

●戸塚危機管理課長  
変形の原因ではありますが、水が溜まったことによって重さがかかったりしてということで、変形したのではないかと考えられます。それから、今後こういうことがないかということではありますが、今回、その辺のユニットの工事の中で、水が溜まった場合に、水が抜けるようなドレンを付けるような形で、そういうことがないような形の対応をとっております。

○藤澤恭子委員  
どのようにして水が溜まったということが確認できたのか、点検などが毎年あったのですか。

●戸塚危機管理課長  
毎年、1回点検工事を委託しているので、その中で、今回の変形が確認されたということになります。

○大石 勇委員  
この設備は何年前にできたのか、4、5年前ですか。

●戸塚危機管理課長  
平成28年度です。

○大石 勇委員

ダクトの部分は、東側に別の建物があって、そこから支所の方に入ってくるけれど、水が溜まった変形したというのは、外に出たダクトの部分ですか。かなり短いと思うんですが、場所は。

●戸塚危機管理課長

今、委員の方からありましたように、大東支所の庁舎とこの外にある建屋を繋ぐ管ということで、外に出ている部分になります。

○大石 勇委員

長さは、どれ位あるのですか。

●戸塚危機管理課長

ダクト長さにつきましては、外に出ている部分で、真っ直ぐ繋いである訳ではなくて、上からこういう形になっているものですから、そこまで入れると10メートル位になります。

○大石 勇委員

分かりました。

●浦野危機管理監

ちょっと補足なんですけど、変形と言っていますが金属製の部分でなくて、当然、建屋と建屋を繋いでいますんで、なんかの場合にズレが生じるといけませんので、フレキシブルな素材で作っております。それが少し弛んだと、水が溜まって重さで弛んだというのを変形という表現をさせてもらってます。

○大石 勇委員

ああ、そういうことね。要するにフレキの部分ね、曲がりのね。分かりました。

○松浦昌巳副委員長

水が溜まったと言うことは、雨水ということによろしいかと思うんですが、まあ雨水もそうですし、例えば、大規模地震が起こった場合とかを考えると、雨が降って溜まった程度で、このような故障というか不具合があるというのは、ちょっと、この設備自体に問題があるのかなと思うんですが、その辺はどうですか。

●戸塚危機管理課長

雨水が原因ではなく、まあ、あるのかも知れませんが、大きな原因については、中にある水蒸気がキャンパス部分に溜まってしまったということでもありますので、その辺を今回ドレーンを付けて行うということです。

○松浦昌巳副委員長

原因とこれからの改善策がはっきりしているということで、今回その蒸発による水に対しては、これで解決するかなと思いますが、実際に、予知できないような状況があるかも知れませんが、果たして、この装置が、本当に災害の時に機能するのかなというのが不安になったんですが、その辺の見解を聞いておきたいのですが。

●戸塚危機管理課長

先程、申し上げましたように点検を専門の委託業者に頼んでやっております。その辺で一応、稼働できるというような、我々の方は担保してるということです。

○松浦昌巳副委員長

点検は年1回ということだったんですが、それは、その装置を動かしたような状態の点検ということによろしいですか。

●戸塚危機管理課長

実際に装置を動かして、安全に使えるかどうかを確実にしております。

○松浦昌巳副委員長

災害の頻度が増えているが、点検の回数を年2回とかにするには考えられますか。

●戸塚危機管理課長

今、専門業者の点検を1回と、実際に使えるような形で稼働できるかというのは、職員で年1回訓練の中でやっているということで、合わせれば2回やっていることになります。

○松浦昌巳副委員長

分かりました。

○藤澤恭子委員

今回のこの水が溜まったというのは、そもそも作りからして想定できたものではなかったのかなと思ったんですよ。そうすると、近隣市町には、もっと沢山の防護施設があるんですが、そういったところで、他に不具合が出てるとか、そういう同じようなことが起こっているということはありませんか。

●戸塚危機管理課長

他の施設については、ダクトの部分に最初からドレーンを付けて対応しているということで、うちのところは、それが付いていなかったということで、他のところでは、そういったことが起こったということは直接は聞いてはおりません。

○鷺山喜久委員

ダクトの修理工事が1,170万円ということですが、この70万円は、ただ単にダクトのその修理だけですか。

●戸塚危機管理課長

金額の中で、1,100万から1,170万になっておりますが、この修理費については、直接このダクトというか、この今回の放射線防御施設とは関係のない修理費が計上されています。今回の修理費については、70万円が全てでありますので、ということでお願いします。

○鷺山喜久委員

厳密に言うと、この議案が出てきて10月1日ですか、採決をして、そうして初めて使えるとこういうことになります。70万のお金は少額ですよ、もう工事をやっちゃっているということはないですよ。

●戸塚危機管理課長

議決を経て、業者に発注するという事で間違いありません。

○鷺山喜久委員

まだ2週間近くあって、それから業者にとっても結構時間がある訳ですが、実際工事にかかるには、その間大丈夫ですか。

●戸塚危機管理課長

現在も水が溜まっておりますけれど変形して、それで施設が稼働しないということではありませんので、今後、将来を見込んで使えなくなる可能性があるものですから、今回、県の方で100%補助で出来ますので、今回発注するという事になります。

○鷺山喜久委員

はい、結構です。

○小沼秀朗委員長

以上で質疑を終了する。

〔委員間討議〕

○鷺山喜久委員

今回は、ゆっくりでも良いということですが、確か部課長には権限があると思うんですよ。要するに2,000万円以下は部長決裁ということで、決裁権限があると思いますので、県が100%補助が出るということが決まったら、場合によってはすぐやる、そういうある程度権限を委託されている訳ですので、心配のないように工事を進めるということが大事ではないかと、時間を待つのではなく必要があれば、課長権限でやってしまうということでも良いのではないかと思います。

○藤澤恭子委員

私も賛同いたします。非常にこの、特に災害に対する危機管理というのは、いつ来てもおかしくない状態ですので、なるべく心配のない状態を保っていただくというのが必要なと思っております。

○小沼秀朗委員長

一方で、議決まで待つという当局の判断は、高く評価できるところかなと思います。ご意見を加えさせていただきます。以上で、討議を終了いたします。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

- ①議案第105号 令和2年度掛川市一般会計補正予算（第8号）について  
第1条 歳入歳出予算の補正  
歳入中 所管部分  
歳出中 第9款 消防費  
第12款 公債費  
第2条 地方債の補正

全会一致にて原案とおり可決

- ②議案第119号 大坂・土方工業用地造成工事変更請負契約の締結について

〔管財課、説明 11:39 ～ 11:41 〕  
〔質 疑 11:41 ～ 11:47 〕

○小沼秀朗委員長

管財課の説明に対する質疑をお願いする。

○鷺山喜久委員

当初の設計が甘いのではないですか。甘いから、こういうことが出てくるのかなと思いますが、当初の設計を受け取った時に、しっかりチェックしていれば、これちょっとおかしくないかというようなことが気が付かなかったのかどうなのか。金額が5,400万円、私らの年収の10年分位ですか、簡単に出てくる訳ですから。その点はどうなんですか。

●村上管財課長

当初の設計内容の変更ということでございますけれども、主なものは、地盤改良と言いまして、地盤の軟弱層が想定より浅くなったというようなこととございます。設計の内容が変わったということではなく、現場の条件が、現場に入ってみたら変わってきたということ、それに合わせた工法変更というようなこととあります。

○藤澤恭子委員

工事の概要ですけれども、こちらにあるように、主に二つに大きく分かれておりますが、今回のですね5,400万円の内訳というのは、どの位の割合比率になっているのか。先程からご説明があるのは、すべて地盤改良に主に支払われておりますが、その割合はどの位のものなのかを教えてください。

●村上管財課長

地盤改良のほかに、防潮堤へ盛土として、当初、残土処分をする予定であったものを、防潮堤へ地盤改良を行って分配したもので、これが2億5千万円の増でございます。

残土処分として、防潮堤と埋め立て地まで持っていくもの、これが7,600万円の増でございます。

軟弱地盤の改良の厚さが浅くなったということが判明いたしました。これに伴います変更が2億6,200万円の減でございます。

県道管理者との協議に伴う擁壁工の減ということで、これが6,400万円の減。

現地にあります伐採をしたチップの処理の変更、これが3,000万円の増という、大体このあたりが主な変更の内容ということで把握しております。

●高柳総務部長

今ご説明させていただいたことなんですけれども、7月21日の議員懇談会で資料を付けさせていただいております。その時には、全体の変更契約額は5千万円ということで、その当時、見積もっておりましたが、今回5,400万円の増ということですので、概ねはその資料が参考になると思いますので、また参考にさせていただければと思います。

○鈴木正治委員

工期は、令和6年2月29日までに造成工事が終わると考えてよいですか。

●村上管財課長

発注いたしました11.8ヘクタールの工事すべてが完了するというところであります。

○小沼秀朗委員長

以上で質疑を終了する。

〔委員間討議〕

○松浦副委員長

南部の議員で視察をしたということですので、2名いらっしゃるものですから、その時の感想とか、期待感とかも含めてご意見をいただければと思います。

○藤澤恭子委員

工事の進捗状況は、非常に順調だということでありました。実際、その場に立ってみると、ここに誘致できれば、来てくださった企業も非常に良い場所だなと感じました。そして工事の状況というのは、今はハイテク化でして、基地局からデータを飛ばして、機械は動いているという状況で、半分はオートメーション化されているという状況でありました。経過を見させていただきまして安心感と、実際に地盤改良している光景も見させていただきました。どう改良していくかということも現地で説明を伺いましたので納得をいたしましたところでございます。

○大石 勇委員

土砂の運搬ですが、ダンプが1日14台、10往復、積載量は10トン車で土砂は、比重でいうと水の1.8倍、ということは1日6トンを超えて5万トンから6万トン運ぶとなると、物凄い量だなと、これを1週間から10日で終わるとなると交通渋滞で動きが取れなくなるので、こまめにやっているということで、大変お金がかかる部分だなと。それでダンプが1トンを運ぶのに何千円という積算をしていくとかなりかかる。机上でやると何億とでてきますが、それ位いくのかなと、現地へ行って説明を聞いて判断をしないと分からない部分がある。土の改良にしても、人をいれて手間をかけてやっており、かなりかかるのかなという印象を持って帰ってきました。

○松浦副委員長

現場を見るのが大切かなと思います。こういう時期になってしまったが、だんだん良くなると思いますので、是非いろんな現場を見て、直接、感じるが必要かなと思います。

○大石 勇委員

現場へ行ってみて、説明を聞くことが必要だと思います。

○藤澤恭子委員

工事をしている段階を見れたのが非常に良かったなと思います。出来上がってからですと、地盤を改良していくタイミング、こういうことにお金を使っているとか、こんなに大きな機材が使われているとかということ、実際に見せていただいたことに感謝しております。

○大石 勇委員

ひとつ言えるのは、山でも埋め立て地でも、ここをどういうものを何年かけて埋めたのかという判断を、造成する前から分かる部分もあるし、掘ってみないと分からないということもある。これどうかなというように首をかしげて見るということも、現場によってはあるのかなと。山を切り崩した場合、設計の段階から調べる必要があるのかなと思います。

○鈴木正治委員

工事をやる場合、事前調査をしっかりとやって進めていった方が良いと思う。今回のも、軟弱地盤が当初から予想されていた。そういうことも調べたうえで、やった方が良かった。やはり現場を見るのが大切だと思う。

○鷺山喜久委員

ボーリングを沢山やれば良かったのではないかと思う。推測で申し訳ないが。

○小沼秀朗委員長

南西郷を造成するときに、地元の皆さんと見学に行きましたが、縄文弥生時代の土器が出てきました。こういう工業団地の造成の時には、地元の議員が現場を見ることや設計の段階から協議ができればと思います。

○大石 勇委員

造成地のみではなく、その周辺を見るのが大切だと思う。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

②議案第119号 大坂・土方工業用地造成工事変更請負契約の締結について

全会一致にて原案とおり可決

3) その他

4) 閉会 [ 11:57 ]